



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月24日

上場取引所 東 大

上場会社名 蝶理株式会社

コード番号 8014 URL <http://www.chori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 修二

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務部長

(氏名) 白神 聡

TEL 03-3665-2031

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	162,394	0.1	4,452	19.0	4,598	19.8	2,715	△39.9
23年3月期第3四半期	162,306	16.2	3,743	△2.9	3,837	△0.9	4,514	77.5

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 2,256百万円 (△42.8%) 23年3月期第3四半期 3,946百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.39	10.79
23年3月期第3四半期	18.94	17.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	63,232	27,553	43.3
23年3月期	64,390	25,826	39.8

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 27,384百万円 23年3月期 25,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	3.6	6,000	15.9	6,000	12.3	3,520	△34.5	14.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	238,691,442 株	23年3月期	238,691,442 株
24年3月期3Q	331,140 株	23年3月期	322,295 株
24年3月期3Q	238,366,347 株	23年3月期3Q	238,396,467 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成23年8月1日より取得請求が可能となっています第三回優先株式及び第四回優先株式の転換が、本決算短信開示日(平成24年1月24日)以降に転換されたと仮定し、取得請求に伴う普通株式増加数を考慮した普通株式の期中平均株式数に基づき算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第三回優先株式	—	—	—	12.91	12.91
第四回優先株式	—	—	—	11.66	11.66
24年3月期					
第三回優先株式	—	—	—		
第四回優先株式	—	—	—		
24年3月期(予想)					
第三回優先株式				12.35	12.35
第四回優先株式				11.10	11.10

（注）第三回優先株式及び第四回優先株式の転換が平成23年8月1日より取得請求が可能となっています。普通株式への転換の状況により24年3月期（予想）における第三回優先株式及び第四回優先株式の配当金総額が変動する場合があります。なお、ここで言う転換とは、取得請求権付種類株式であるこれらの優先株式の取得と引換えに普通株式を交付することを表しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直しているものの、景気の先行きについては、欧州の政府債務危機などを背景とする海外景気の下振れリスクや円高の定着などにより、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、重点施策である開発推進や機能のある取引へのシフトにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.1%増の1,623億94百万円、営業利益は、前年同期比19.0%増の44億52百万円、経常利益は、前年同期比19.8%増の45億98百万円となりました。四半期純利益は、連結子会社の解散に伴う繰延税金資産を前年同期に計上しましたが、当第3四半期連結累計期間は税負担が平準化したこと等もあり、前年同期比39.9%減の27億15百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 繊維事業

当セグメントにおきましては、自動車のサプライチェーンの急回復等に伴い産業資材分野が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比4.4%増の801億34百万円となり、セグメント利益（営業利益）は増収効果に加え益率の改善および経費効率の大幅改善により前年同期比46.4%増の25億7百万円となりました。

② 化学品事業

当セグメントにおきましては、当第2四半期連結累計期間まで堅調に推移しておりましたが、当第3四半期連結会計期間に入り、中国市場の需要が減速したこと等により、売上高は前年同期比3.7%減の475億98百万円となり、セグメント利益（営業利益）は前年同期比1.0%減の17億1百万円となりました。

③ 機械事業

当セグメントにおきましては、中南米向け中国事業は順調に推移しているものの、当第3四半期連結会計期間に入り、中南米市場の需要が低迷したこと等により、売上高は前年同期比3.6%減の340億76百万円となり、セグメント利益（営業利益）は前年同期比11.2%減の1億91百万円となりました。

④ その他

当セグメントにおきましては、前年同期に連結子会社の1社を解散したことにより、売上高は前年同期比21.6%減の5億84百万円となり、セグメント利益（営業利益）は前年同期比45.3%減の52百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、632億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億58百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が6億12百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、356億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億85百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が45億54百万円減少、未払法人税等が11億19百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、275億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億27百万円増加しました。これは主に四半期純利益の計上により27億15百万円増加、配当の支払により5億6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の先行きは、依然として不透明であり、当社及びグループ企業を取り巻く事業環境も引き続き厳しい状況であることが予想されますが、現時点では平成23年10月24日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,906	5,870
関係会社預け金	3,000	1,000
受取手形及び売掛金	35,189	34,577
商品及び製品	9,448	11,110
仕掛品	57	28
原材料及び貯蔵品	16	28
未着商品	168	136
繰延税金資産	786	315
その他	3,672	3,078
貸倒引当金	△74	△51
流動資産合計	58,171	56,092
固定資産		
有形固定資産	534	559
無形固定資産	86	69
投資その他の資産	5,598	6,511
固定資産合計	6,219	7,139
資産合計	64,390	63,232
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,883	27,329
短期借入金	271	699
未払法人税等	204	1,323
賞与引当金	503	362
返品調整引当金	1	2
関係会社整理損失引当金	42	42
その他	4,132	4,373
流動負債合計	37,038	34,133
固定負債		
繰延税金負債	3	2
退職給付引当金	1,168	1,204
役員退職慰労引当金	116	148
負ののれん	236	188
固定負債合計	1,524	1,545
負債合計	38,563	35,678

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,800	6,800
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	19,373	21,575
自己株式	△43	△44
株主資本合計	27,830	30,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△344	△531
繰延ヘッジ損益	56	17
為替換算調整勘定	△1,896	△2,132
その他の包括利益累計額合計	△2,184	△2,646
少数株主持分	181	169
純資産合計	25,826	27,553
負債純資産合計	64,390	63,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	162,306	162,394
売上原価	148,358	147,451
売上総利益	13,947	14,942
販売費及び一般管理費	10,204	10,489
営業利益	3,743	4,452
営業外収益		
受取利息	74	76
受取配当金	90	89
持分法による投資利益	9	28
負ののれん償却額	47	47
債務勘定整理益	108	92
雑収入	112	140
営業外収益合計	443	475
営業外費用		
支払利息	70	92
手形売却損	64	78
売上割引	65	72
為替差損	65	37
雑支出	81	49
営業外費用合計	348	330
経常利益	3,837	4,598
特別利益		
投資有価証券売却益	17	9
固定資産売却益	2	2
負ののれん発生益	—	1
貸倒引当金戻入額	49	—
特別利益合計	69	13
特別損失		
創業150年記念費用	—	68
ゴルフ会員権評価損	11	18
固定資産処分損	8	4
投資有価証券評価損	73	3
関係会社株式売却損	33	—
特別損失合計	126	95
税金等調整前四半期純利益	3,780	4,516
法人税、住民税及び事業税	185	1,371
法人税等調整額	△927	423
法人税等合計	△742	1,795
少数株主損益調整前四半期純利益	4,522	2,720
少数株主利益	7	5
四半期純利益	4,514	2,715

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,522	2,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△186
繰延ヘッジ損益	△119	△39
為替換算調整勘定	△317	△211
持分法適用会社に対する持分相当額	△95	△26
その他の包括利益合計	△576	△464
四半期包括利益	3,946	2,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,942	2,253
少数株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	76,783	49,443	35,333	161,561	745	162,306	—	162,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	561	561	△561	—
計	76,783	49,443	35,333	161,561	1,306	162,867	△561	162,306
セグメント利益	1,712	1,719	215	3,648	95	3,743	—	3,743

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器、不動産の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維事業	化学品事業	機械事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	80,134	47,598	34,076	161,809	584	162,394	—	162,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	397	397	△397	—
計	80,134	47,598	34,076	161,809	981	162,791	△397	162,394
セグメント利益	2,507	1,701	191	4,399	52	4,452	—	4,452

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・通信機器、不動産の取扱及び各種役務提供等を含んでおります。

2 報告セグメント及びその他の事業セグメントのセグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。